

## 2025年11月27日(木)25年度第4回全体交流懇親会を開催いたしました。

2025年11月27日(木)、会員総勢約80名が一堂に会し、第4回全体交流懇親会が執り行われました。当社団理事の田和宏様の講話および第1号調査研究会案件(スタートアップ支援)の実行フェースを指導している岩田委員会の経過報告がありました。その後には、恒例の会員スピーチ大会やイベント・交流タイムとプログラムは中断なく進み、参加の皆さんが学びと交流の充実した時間を過ごすことができました。



【一柳理事長】

最初に、一柳理事長からの開催のご挨拶では、会員数が現時点で昨年度末から実に約50名増えて141名になったことに対する謝辞が述べられ、社団に対する人気上昇してきたことから、今後の入会に当たっては面接審査を設ける点も付言されました。引き続き、社団のクオリティを維持しながら日本の未来づくりに熱意ある多士済々の仲間を集め、「考動」する社団活動を盛り上げていく旨を宣言されました。



【斉藤理事】

続いて、社団発足時より理事に就任いただいている斉藤惇様からご挨拶を頂きました。この中で、「失われた30年と言われる日経平均株価は、実は09年を底に15年で7倍も急増、このような株価急騰の経験をした国は他にない。日本人はもっと自信を持つべき。給与の一部に自社株を入れれば若者はもっと発奮する。」と熱弁されました。続いて、当社団監事の酒井弘行様より、その昔新日鉄君津訪問時に見た秘蔵の宝とは鄧小平の文書だったことを思い出され、中国と良好な関係を早く取り戻したいと発言され、乾杯のご発声を頂きました。



【酒井監事】



【田和理事】

お食事、ご歓談を挟み、当社団理事の田和宏様より講話を頂戴いたしました。田和様は前内閣府事務次官で日本の経済政策のブレーンのお一人です。テーマ「国際情勢と日本経済」の中で、日本の未来を語る3つの視点として人口動態、地政学、技術創造を押さえる必要を説かれ、そのためには大変革の今を逃さないこと。そして何よりも頑張る人を支えることが大事で、社団の役目が大きいと主張されました。

続いて、岩田委員会座長の岩田理事から会員同士のAIベンチャーと大手企業の協業の取り組み状況報告が動画を交えて行われ、活動の中で得られた貴重な経験値が報告されました。併せて、同企業の初めてのAI構築に際して体験された現場の苦労話について副社長および取締役から報告がありました。



【岩田委員会からの報告の様子】

その後はプログラムに従い、全体交流懇親会の初参加者10名の「1分スピーチ」、および遠方からお越し頂いた方々の近況報告が行われ、会場の選考委員4名から賞品(熊野牛カレーセット)が贈呈されました。



【会員スピーチ】



【スピーチ優秀者へプレゼント贈呈】

続いて、恒例のじゃんけん大会が催され、理事長を相手に会員全員参加で大熱戦が繰り広げられ、最後に勝ち残った4名の方に賞品（イタリア産有機バルサミコ）が贈呈されました。



【じゃんけん大会】



【じゃんけん勝者へ景品贈呈】



以上のイベントを終えたのち、専務理事から事務局のお知らせがありました。特に会員から好評を頂いている小規模交流勉強会を月1回から2回にペースを上げて、多くの会員の参加機会を増やしたいとのご案内がありました。また、暫定版のパンフレットに新しく「会員の心得3つ」が紹介されました。



【懇親会の様子】

懇親会後半に入って、自席を離れての交流タイムに入り、新しい会員の皆さんは名刺交換に花が咲き、加えて各テーブルで活発に語らいが交わされ、いつものながらの化学反応が時間を忘れるほどに続きました。中締めは当社団理事大西洋様からご挨拶および社団へ大きなエールをお執り頂きました。未来をつくるうえで大切なものは、熱き同じ志を持った仲間と一緒に考動することが大きな力になると説かれ、大西様の音頭により全員で異口同音に「All together!!」と声高らかに場内に轟きわたり、たくさんの笑顔と拍手の渦の中で終幕となりました。(永峯記)



【大西理事】



【『一柳良雄が問う 日本の未来』のタイトルコールのポーズで記念写真】